

中小企業の経営支援に関する取り組み

Kirayaka Bank

きらやか銀行

1. 中小企業の経営支援に関する取り組み方針

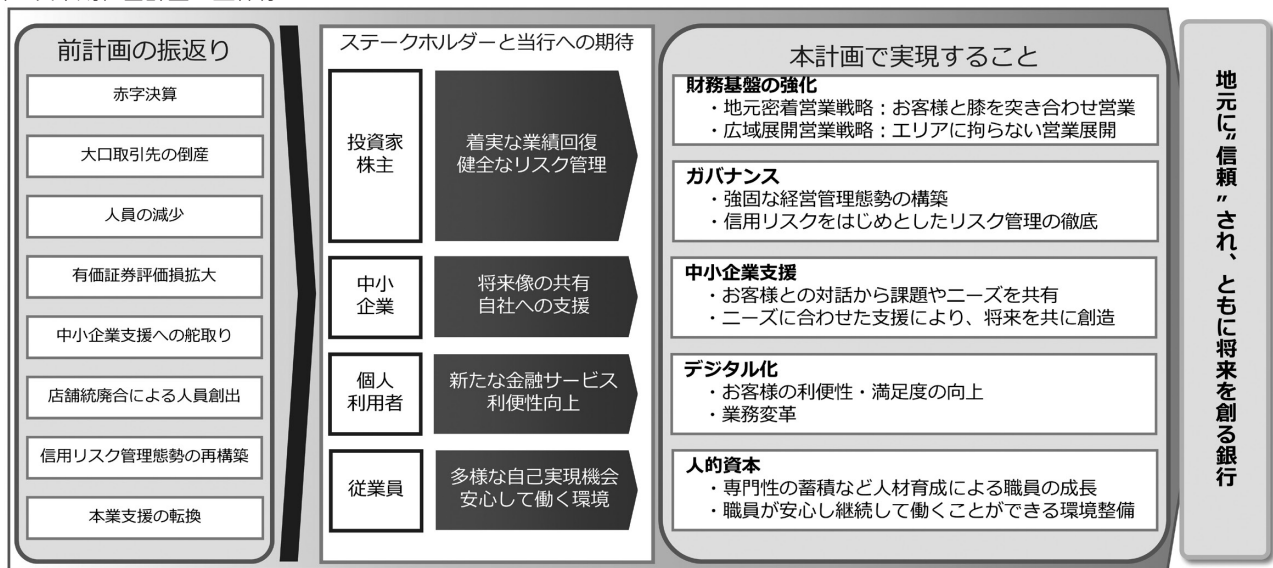
○中小企業支援への取り組み

当行は、地元中小企業への安定的かつ円滑な資金供給を通じ、地域に根ざす金融機関として、地域経済活性化及び取引先との共存共栄を目指し、地域密着型金融を推進しております。2010年より「地域の皆さまと共に生きる」を経営方針に、2018年には「私たちの想い」「本業支援を通して 地元の『中小企業』と『そこに働いている従業員の皆さま』から喜んでいただき地域と共に生きること。」を経営理念に掲げ、全役職員が同じ思いを持ち本業支援に取り組んでまいりました。

2024年9月、経営強化計画と期間を同一とする新しい中期経営計画を策定いたしました。当該計画においては、経営理念である「地域と共に生きる」は変わることのないアイデンティティと位置付け、それに基づく当行の存在意義や目指す姿（将来像）、この3年間のスローガンを定義いたしました。

その上で、早期の業績回復を果たし、ステークホルダーからの信頼を回復するため、「財務基盤の強化」「ガバナンス」「中小企業支援」「デジタル化」「人的資本」の5つのキーワードをもとに本支店の役職員が一丸となり、各施策に取り組んでまいります。

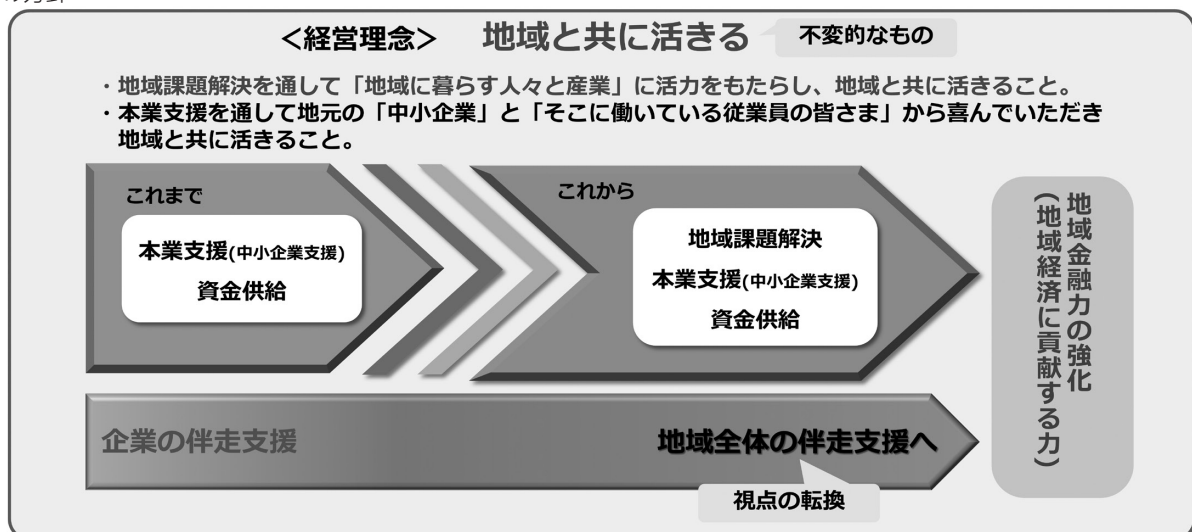
第7次中期経営計画の全体像



2. 地域課題解決支援に関する取り組み方針

人口減少や高齢化、事業所の減少など地域社会を取り巻く環境が激変する中で、当行は地域金融機関としてこれまで以上に地域や企業の課題解決に向き合うことが必要不可欠であると考えております。そこで、2025年10月より経営理念である「私たちの想い」に「地域課題解決を通して『地域に暮らす人々と産業』に活力をもたらし、地域と共に生きること。」を追加し、「地域課題解決」という視点を加えた取り組みを行っております。

当行の方針



3. 中小企業の経営支援に関する取り組み状況

○地域課題解決支援への取り組み

当行では地域課題に対応するために「人材支援」、「事業承継」、「DX支援」を地域課題解決の3本柱として掲げております。多くの取引先が直面する重要な課題に対し、引き続き様々なメニューを準備し、課題解決支援を行ってまいります。

(1) 人材支援

当行では、中途採用支援サービスや外国人活躍支援、副業・兼業人材、従業員・経営者育成、人事労務コンサルティング等、業務提携先との連携を図りながらお客様の経営課題解決に向けた幅広い支援を行っております。2025年度の人材領域における成約件数は18件となりました。

また、人材確保の一環として、取引先従業員に向けた福利厚生充実の支援するため、SBIベネフィットシステムズ株式会社と協業し、「きらやかDCプラン（企業型確定拠出年金制度）」で取引先従業員の資産形成を支援しております。

(2) 事業承継支援

税制面、法務面での課題解決や実現性の評価など具体的な手続きが必要となります。そのような場合は、原則的に取引先企業が顧問契約を結んでいる専門家と連携しながら進めてまいります。各企業の顧問税理士等は、それぞれの企業経営に密着しており、事業承継に関する詳細な知識を有していないこともあり、専門家への依頼についても先送りしている事例も少なくありません。その際、当行の担当者は経営者と専門家をつなぐ「コーディネーター」の役割を果たしております。さらに、顧問税理士等が対応の難しい案件の場合は、当行子会社のきらやかコンサルティング&パートナーズ株式会社（KCP）や当行が連携している税理士等の専門家と連携し、課題解決を支援しております。

また、第三者事業承継（M&A）については、行内ネットワークのみならず、仙台銀行やきらぼし銀行、あおぞら銀行、日本政策投資銀行等との連携や、2024年度より山形県が運営する「山形県事業承継ネットワーク」と「事業承継引継ぎ支援センター」が統合して発足した「山形県事業承継・引継ぎ支援センター」等の公共外部機関との連携を強化し、お客さまの事業承継ニーズにタイムリーな対応を行ってまいります。

当行は重点施策として既往取引先への網羅的な本業支援を組織的に取り組みながら、お客さまの販路拡大・仕入先斡旋・不動産関連等を中心とした経営相談にも積極的に対応しております。

その結果、2026年3月期の経営相談に関する実績は1,377件となりました。

（単位：件）

	2019/9 実績	2020/3 実績	2020/9 実績	2021/3 実績	2021/9 実績	2022/3 実績	2022/9 実績	2023/3 実績	2023/9 実績	2024/3 実績	2024/9 実績	2025/3 実績	2025/9 実績	2026/3 実績
創業・新事業	25	37	21	18	8	30	27	42	35	59	25	18	16	33
経営相談	1,409	1,309	1,297	1,129	1,377	1,379	1,338	1,460	1,438	1,421	1,453	1,311	1,382	1,377
事業再生	208	178	192	207	214	202	195	150	144	143	139	160	166	191
事業承継	56	45	69	60	150	49	48	146	117	175	94	134	175	219
担保・保証	32	39	23	36	31	27	14	30	14	28	21	27	14	31
合 計	1,730	1,689	1,602	1,450	1,780	1,687	1,622	1,828	1,748	1,826	1,732	1,650	1,753	1,851
取引先総数	8,213	8,145	8,210	8,132	8,210	8,026	7,916	8,128	7,833	7,950	7,587	7,613	7,490	7,174
比 率	21.06%	20.74%	19.51%	17.83%	21.68%	21.02%	20.49%	22.49%	22.32%	22.97%	22.83%	21.67%	23.40%	25.80%

(3) DX支援

地域課題である「人口減少」により、今後、より人手不足が深刻化する中、当行ではデジタル・DXによる「業務効率化」や「生産性向上」を支援しております。具体的には、対話を通じて課題を整理した上で、幅広い業務提携先のネットワークを活用して課題解決方法を提示し、伴走支援しております。特に、当行グループ会社やSBIグループがもつ知見や課題解決能力は当行の強みであり、それらを最大限に活用し、取引先の課題解決に取り組んでおります。

また、企業が持続的に価値向上していくためには、DX推進とあわせて、「サイバーセキュリティ対策」が重要となります。当行では、サイバー攻撃を重大な「経営リスク」と捉え、2025年8月にサイバーセキュリティ専門会社との業務提携契約を締結。昨年度は、取引先に対し「サイバーセキュリティセミナー」を計2回開催いたしました。

今後も、「DX」と「サイバーセキュリティ対策」の両輪で取引先をサポートしてまいります。

○サステナブル関連融資の取り組み

企業のSDGsへの取り組みや脱炭素経営が主流となる中、当行においてもじもとホールディングスが掲げるサステナビリティ投資方針のもと企業のサステナブル経営を後押ししております。具体的には、融資商品「きらやかSDGs応援ローン」や「きらやかSDGs寄付型ローン」の取扱いの開始や、経済産業省が実施する「省エネルギー設備投資に係る利子補給金」の指定金融機関として指定されたほか、寄付型私募債「きらやかじもと応援私募債」の取扱いにより、地域貢献に資するものとして企業のサステナブル経営を後押ししてまいります。

今後も、企業のサステナブル経営及び脱炭素経営を支援すると共に、地域経済の活性化に努めてまいります。

○仙台銀行との連携による取り組み状況

【仙台銀行との連携によるビジネスマッチングの取り組み】

当行は、じもとホールディングスと連携し、自内行のほか、仙台銀行との県境を越えた多様なビジネスマッチングに取り組んでおります。

【広域ビジネスマッチングの取り組み】

当行は、第二地方銀行協会や他県地銀、商工会議所など外部機関主催の商談会にも積極的に参加し、取引先企業に対して、販路拡大等に向けた様々なビジネスマッチングの機会を提供しております。

また、じもとグループと東京きらぼしファイナンシャルグループは、中小企業支援に関する連携協定を締結しており、ビジネスマッチングの取り組みを継続して行っております。

○担保・保証に過度に依存しない融資

(1) 事業性評価に基づく融資等

お客さまとの対話（アクティブリスニング）を通し、事業内容や課題・ニーズを把握した上でそのニーズに合わせた融資や販路紹介を行ってまいります。

(2) 経営者保証に関するガイドラインへの対応

当行は、お客さまへの融資の取り組みにあたり「経営者保証に関するガイドライン」の主旨を尊重した取扱いを実施するべく、『「経営者保証に関するガイドライン」適用チェックシート』を制定し、全店が同一目線で対応できる態勢としております。2025年度下期において1,966件の無保証融資を実行し、当該期間における新規融資件数全体に占める無保証融資の割合は64.5%となりました。

今後も「担保又は保証に過度に依存しない融資」の活用を含め、経営者保証に関するガイドラインの浸透を図ってまいります。

≪経営者保証に関するガイドラインの活用状況≫（2025年度下期）

①新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合

新規融資案件	3,044件
新規に無保証で融資した件数	1,966件
経営者保証に依存しない融資の割合	64.5%

②事業者承継時における保証徴求割合（4類型）

新旧両経営者から保証徴求した割合	0.0%
旧経営者のみから保証徴求した割合	22.3%
新経営者のみから保証徴求した割合	44.7%
経営者から保証を徴求しなかった割合	32.8%

4. 地域の活性化に関する取り組み状況

○地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた同時的・一体的な「面」的再生への取り組み

取り組み内容	取り組み
デジタル地域通貨	2021年7月、デジタル商品券や地域ポイントを発行・運用するための情報プラットフォームを活用した地方創生及び地域経済活性化に対する取り組みについて、SBIネオフィナンシャルサービス株式会社及び株式会社まちのわと連携・協力していくことを目的として、包括連携協定を締結いたしました。これまで、山形市や河北町で事業を実施しております。
きらやか産業賞の贈呈	山形県内の中小企業者を育成し、地域産業の活性化を図ることを目的に、一般財団法人きらやか銀行産業振興基金による表彰・助成産業である「きらやか産業賞」を展開しております。対象先を、山形県内において「技術革新」「経営革新」「国際化」「教育訓練」の面において特に優れた実績を上げている企業とし、1先100万円の助成金を贈呈しております。2025年度には「技術革新」「国際化」の面において顕著な実績を上げ、地域の活性化や雇用の確保に大きく貢献している3先に贈呈いたしました。1989年の事業開始以降、これまで131先に贈呈しておりますが、今後も本事業を継続することで山形県の産業振興に寄与してまいります。
地域一体での面的な再生支援	当行では、国土交通省観光庁で推進している観光地再生・高付加価値化推進事業が採択された温泉地区において、取引先の温泉旅館でのコロナ禍において変化する顧客ニーズに地域一体となった面的な観光地再生の取り組みを支援してまいりました。コロナ禍から地域経済が回復し、地元経済が活性化するためには、個別取引先だけの支援にとどまらず、地域が一体となった面的な再生の支援が必要であり、国や地方自治体の補助金制度や外部機関とも連携しながら、中長期的な支援に取り組んでまいります。

中小企業の経営支援に関する取り組み

S e n d a i B a n k

仙台銀行

1. 中小企業の経営支援に関する取り組み方針

○震災復興及び中小企業支援への取り組み

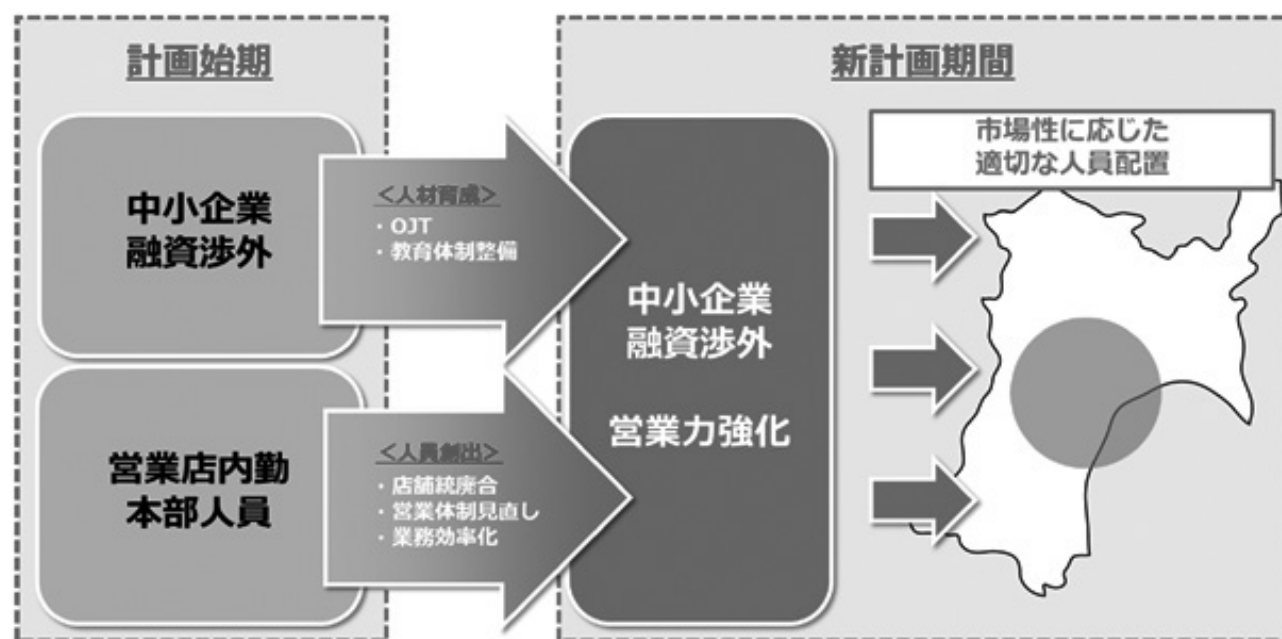
当行は、被災地の地域金融機関として、震災からの早期の復興に向けて、円滑な資金供給や事業再建支援をはじめとする復興支援策に、積極的かつ長期間にわたって着実に取り組む方針としております。

この方針のもと、当行は、じもとグループの長期戦略である中小企業支援を通じて、さらやか銀行との連携を図りながら、中小規模事業者等の抱える様々な経営課題の解決を幅広く支援することで、被災企業の成長・発展をサポートし、地域の復興と活性化、地方創生に貢献してまいります。

2. 中小企業の経営支援に関する態勢整備の状況

○営業担当者の適正配置

当行では、店舗統廃合、営業体制見直し、業務効率化などにより人員を創出し、市場性に応じた適切な人員配置を実施してまいります。



○本部の支援体制

当行は、2011年6月に震災からの復興支援を目的として、地元企業応援部を設置し、取引先への円滑な資金供給や経営支援、さらには新型コロナウイルス感染症の影響を受けた取引先への事業再生支援などに取り組んでおります。

なお、事業再生支援について、被災企業に伴走しながら迅速に行うため、地元企業応援部に専門部署としてサポート室を設置しておりましたが、東日本大震災から10年超経過した中で復興支援は十分に果たしたことから、業況が悪化している取引先への支援をより迅速に行うため、2025年2月に融資部へ編入しました。

課・室名	活動内容
地元企業応援部法人営業課	- 事業者向け貸出・経営支援の方針・戦略を策定。 - ソリューション推進担当を配置し、取引先のデジタル化等の業務効率化を支援。
地元企業応援部法人推進室	- 融資専門スタッフを配置し、円滑に資金供給。 - 業種別専門人材を配置し、取引先の課題解決をサポート。 - 政府系金融機関や地元税理士団体等との連携により創業先を含む地場企業の成長を支援。
融資部サポート室	- 宮城県中小企業活性化協議会等の外部機関と連携し、取引先の経営改善支援を実施。 - 事業再生に向けた既存借入の資本性劣後ローンへの転換等を含む、政府系金融機関との連携。 - 再生支援先に対する事業計画書策定等の伴走支援。

○SBIグループとの連携

当行では、取引先のデジタル化やDX支援のため、SBIグループとの連携を強化しております。

インターネットバンキングの導入のみならず、SBIグループが提供する経費システムなどのデジタル化ツールの導入支援などを営業店と連携して行うことにより、取引先の経営効率化に貢献してまいります。

○人材育成

当行は、「人で勝負する銀行」を経営ビジョンに掲げており、多様化する事業者の経営課題に対応するため、融資経験の少ない担当者や若手担当者向け融資研修を実施しております。

また、中小企業診断士やファイナンシャルプランニング技能士、医療経営士などの資格取得支援などにより、職員の経営支援に関する提案力のさらなる向上に努めております。

3. 中小企業の経営支援に関する取り組み状況

○ライフステージに応じた経営支援

当行は、お客さまの事業、ニーズ・経営課題を把握、最適な提案を行うことで、お客さまのライフステージに応じた支援を行っております。

(1) 創業者向け支援の強化に向けた取り組み

当行は、2020年4月より、「ビジネス・パートナーズ・サービス」を取扱いしております。これは、設立から5年以内の法人・個人事業主の取引先等に便利なサービスをパッケージで提供するものであり、同サービスの提供をはじめとした創業者向けの支援に取り組んでおります。

①創業支援パッケージ「ビジネス・パートナーズ・サービス」

本サービスでは、設立から5年以内の法人・個人事業主の取引先等を対象に各種サービスの無料化等を通し円滑な創業を支援しております。

②女性起業家向け創業融資「はなさくミライ！」

本サービスでは、女性の担当職員が女性起業家の事業計画書の策定から初回資金調達までをサポートし、相談しやすい環境を提供しております。

③創業者の販路拡大等を支援する「地域ビジネスPRサービス」

本サービスでは、お客さまの商品やパンフレットなどを営業店ロビーに展示することで、企業PRや販路拡大を支援しております。

＜当行が関与した創業・第二創業の件数＞

創業件数	493件
------	------

(2) 成長段階における支援

①きらやか銀行との連携によるビジネスマッチングの取り組み

当行は、じもとホールディングスと連携し、自行内のほか、きらやか銀行との県境を越えた多様なビジネスマッチングに取り組んでおります。

②広域ビジネスマッチングの取り組み

当行は、第二地方銀行協会や他県地銀、商工会議所など外部機関主催の商談会にも積極的に参加し、取引先企業に対して、販路拡大等に向けた様々なビジネスマッチングの機会を提供しております。

また、じもとグループと東京きらぼしファイナンシャルグループは、中小企業支援に関する連携協定を締結しており、ビジネスマッチングの取り組みを継続して行っております。

(3) 経営改善・事業再生・業種転換の支援

当行では、被災企業等の再生、発展に向けて、地元企業応援部と営業店・外部専門家等が連携し、被災状況や多様な経営課題等を的確に把握のうえ、各企業の状況に応じた最適な支援策を検討・実施しております。

また、当行子会社である株式会社仙台銀キャピタル&コンサルティングを通じて事業承継やM&Aに関する支援体制を強化しております。

①被災企業の状況に応じた事業再建支援策の実施

当行は、経営改善計画の進捗状況のフォロー、債権売却した先のリファイナンスも含めた出口戦略の支援など、被災企業への各種支援のほか、新型コロナウイルス感染症の影響への対応も含めて、資金繰り支援も含めた経営改善支援に注力しております。

＜事業再建支援策の実施数＞（2026年3月末まで累計）

宮城県中小企業活性化協議会・事業再生計画策定支援	305件
政府系金融機関の劣後ローン導入支援	94件

②「東日本大震災事業者再生支援機構」の活用

東日本大震災事業者再生支援機構（以下「支援機構」）は、2012年2月に政府が設立し、同年3月より業務が開始されました。

支援機構の支援対象先には、復興機構の支援が困難な企業も含まれております。当行は、被災取引先の状況等に応じて支援機構と連携し、2021年3月末までに68先の支援に合意し、全先の債権売却を完了しております。

支援機構へ債権を売却した先のうち、リファイナンス等の出口が決まっていない先は11先となりました。

③M&A・事業承継支援先数

仙台銀キャピタル&コンサルティング	累計
M&A・事業承継支援先	41先

○経営者保証に関するガイドラインへの対応

当行は、経営者保証に関するガイドラインに基づき、新規の無保証融資等に取り組み、中小規模事業者への円滑な資金提供に取り組んでおり、2025年度下期は、2,008件の無保証融資を行い、当該期間における無保証融資の割合は69.0%となりました。

また、「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」を踏まえ、事業承継時における新旧経営者の保証要否を適切に判断し対応する体制を整備し、経営者交代時における円滑な事業承継の支援に取り組んでおります。

当行は、引き続き、経営者保証に関するガイドラインに基づき、被災企業を含む中小規模事業者への円滑な資金提供に取り組んでまいります。

《経営者保証に関するガイドラインの活用状況》（2025年度下期）

①新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合

新規融資件数	2,909件
新規に無保証で融資した件数	2,008件
経営者保証に依存しない融資の割合	69.0%

②事業承継時における保証徴求割合（4類型）

新旧両経営者から保証徴求した割合	0.0%
旧経営者のみから保証徴求した割合	47.8%
新経営者のみから保証徴求した割合	27.5%
経営者から保証を徴求しなかった割合	24.7%

《経営者保証に関するガイドラインの活用先数及び全与信先数に占める割合》

	全与信先数	ガイドライン活用先数	割合
活用先数及び割合	12,552先	5,492先	43.8%

○取引状況

《中小企業債務者数・中小企業融資残高・法人預金》

	2024/3期	2025/3期	2026/3期
中小企業債務者数（先）	9,266	9,374	9,557
中小企業融資残高（億円）	4,924	5,011	5,087
法人預金残高（億円）	2,755	2,765	2,955

4. 地域の活性化に関する取り組み状況

○地元大学・県内企業等との連携による県内就職率向上及び地元定着に向けた取り組み

当行は、県内大学・企業・自治体による協働事業である「みやぎ・せんだい地域人材育成協働事業プラットフォーム」の一員として、学生向けに県内企業や自治体の魅力を発信することで県内企業への就職率向上や地元密着などにつながる活動に取り組んでおります。

2025年度は、地方創生・地域活性化のため本事業の一環として「みやぎの企業発見プログラム2025」を実施しました。

○官金連携イベントの開催による地域振興への取り組み

当行及びじもとホールディングス、きらやか銀行では、山形県山形市主催イベントとの連携の一環として、2025年10月に「じもとまつりin山形2025～山形・宮城の美味しいもの大集合～」を開催しました。

これは、当行及びきらやか銀行の取引先企業に出店いただき、山形・宮城の食材や商品の魅力をより多くの方に知っていただくことで地域振興・活性化を図るイベントです。

○地域の文化活動への支援を通じた地域経済活性化への貢献

当行は、地域の文化活動への支援を通じて、震災からの復興と地方創生、地域経済の活性化に貢献するため、仙台市が募集した泉文化創造センター（イズミティ21）の命名権を取得しております。

同館主催のコンサートへの協賛などを通じて、地域の文化活動への支援に継続して取り組んでまいります。